施工説明書

TOTO

棚付二連紙巻器

YHK490FR

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
商品にはお客様用として、取扱説明書が同梱されています。工事完了後は必ずお客様へお渡しください。取扱説明書に付属の保証書には、店名およびお取付日を必ず記入してください。

安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

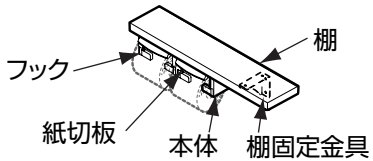
 禁止	**屋外や浴室などの、水が掛かったり湿気の多い場所には設置しない また下地および商品を水にぬらさない** 部材が腐食することで商品が脱落し、けがをするおそれがあります。
 分解禁止	**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない** 故障の原因となります。
 必ず実行	**必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける** **壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の合板または、同等以上の下地材を取り付ける　下地の合板が12mm未満の場合は事前に30mm以上の補強木を設ける** 土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、商品が外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	必ず同梱のねじ、座金を使用する 同梱のねじ、座金を使用しないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

⚠ 警　告

 必ず実行	**各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する** 下地に十分な厚み・補強がないと、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する 商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。
	壁取付ねじを締め付けた際、バリが出ていないことを確認する バリが出ていると、使用される方が触ったりすることにより、けがをするおそれがあります。
	取り付け完了後、商品が水平に取り付いていることを確認する 商品が指定の向きで、水平に取り付いていないと、商品が外れたり、壁が壊れたり、棚の上に置いたものが落下して、使用される方が転倒したり、けがをするおそれがあります。
	同梱の棚固定金具、あるいは指定の収納（別売）と一緒に、指定の組み合わせで取り付ける 商品が外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。 また収納の扉が便器にあたり開かない場合があります。

1 各部のなまえ

※本体と棚固定金具は、左右逆にも組み付けられます。

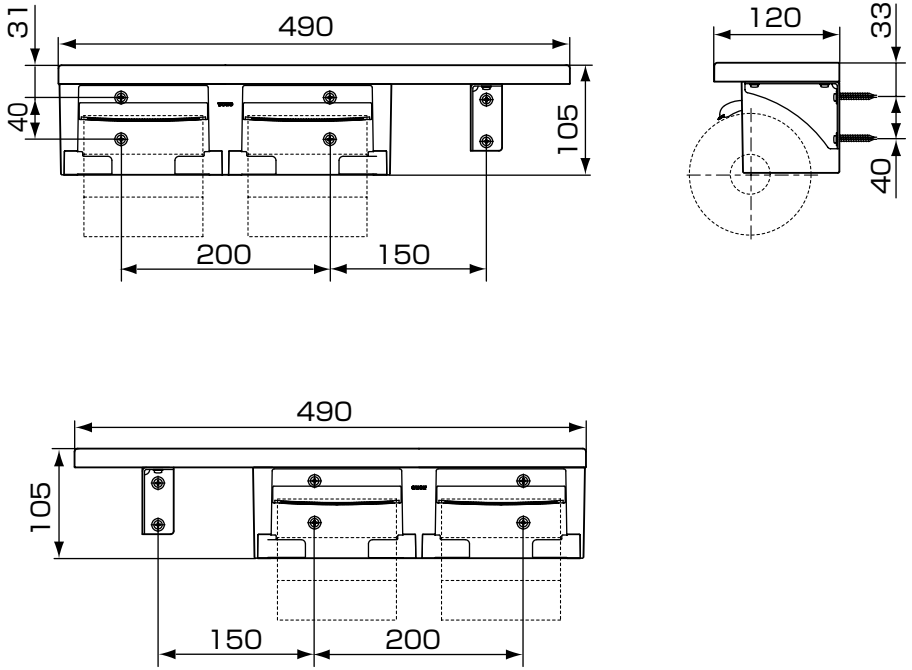


2 付属部品の確認

■ 次の部品があることを確認してください。

付　属　部　品			
紙巻器本体	1個	棚板	1枚
壁取付ねじ（なべタッピンねじφ4.5×40）	4本	棚取付ねじ（なべタッピンねじ 座金付φ4×18）	6本
壁取付ねじ用座金（φ12×t1.2）	4枚		
両面テープ（スポンジタイプ）	1枚	棚固定金具（なべタッピンねじ φ4.5×40 2本　座金φ12×t1.2 2枚付き）	1個

3 商品寸法



（単位:mm）

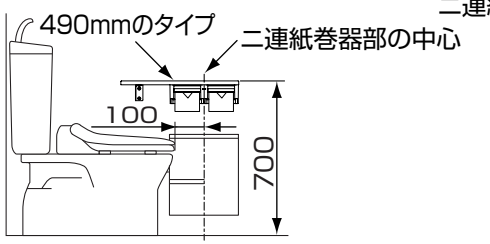
4 取付位置

下図は参考位置です。現場の状況に応じて適切な取付位置を決めてください。

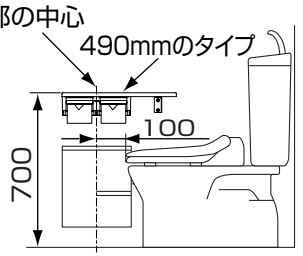
1 商品単体で取り付ける場合

(単位:mm)

セットA



セットB



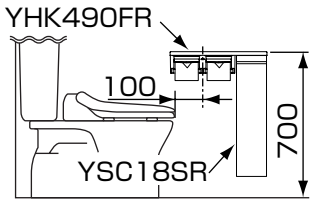
2 収納とセットで取り付ける場合

(単位:mm)

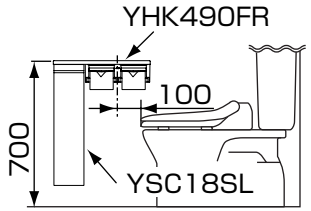
注 意

指定の収納と組み合わせるときは、棚固定金具は使用しません。

セットC



セットD



⚠ 警　告

禁止

屋外や浴室などの、水が掛かったり湿気が多い場所には設置しない
また、下地および商品を水にぬらさない
部材が腐食することで商品が脱落し、けがや重大事故につながるおそれがあります。

必ず実行

同梱の棚固定金具、あるいは指定の収納（別売）と一緒に、指定の組み合わせで取り付ける
商品が外れたり、壁が壊れたりして、使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。また収納の扉が便器にあたり開かない場合があります。

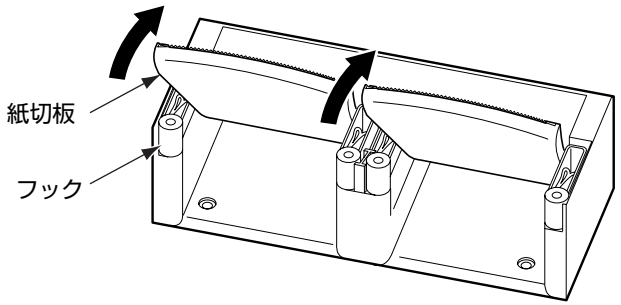
5-1 取付方法

1-1 棚と紙巻器本体、棚固定金具の組み立て

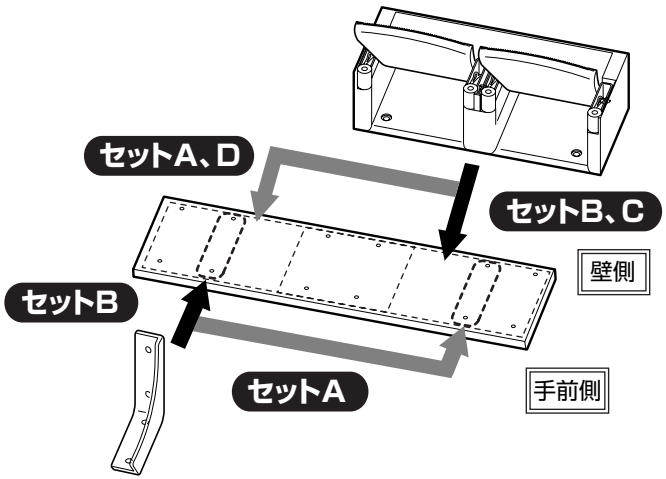
[1] 商品の取付位置を確認し、紙巻器本体を、棚の左右どちらの端に組み付けるか確認してください。
※左右の位置を間違えると、収納の扉が便器に干渉して開かなくなる場合があります。また、棚板の下穴は一度ねじを取り付けて外すと、穴が破壊されねじが効かなくなる場合があります。

[2] 棚板の裏面（下穴があいている面）に、紙巻器を取り付けます。
棚板に対する紙巻器の位置、および向きは下図を参照してください。

①フックを回転させ、紙切板を移動してください。



②棚板の裏面の下穴の位置を確認してください。



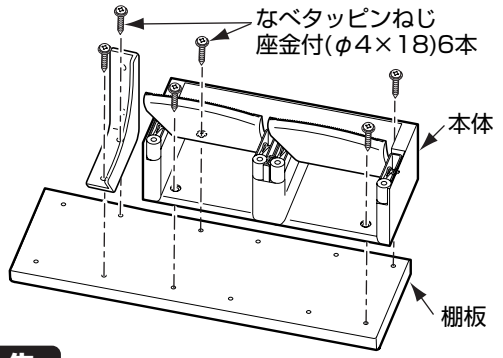
1-2 棚と紙巻器本体、棚固定金具の組み立て（つづき）

注 意

●棚板に対する紙巻器の位置、および向きは、正しく取り付けてください。誤って取り付けた場合、使い勝手が悪くなるおそれがあります。

●指定の収納と組み合わせるときは、棚固定金具は使用しません。

③付属のφ4×18なべタッピンねじ座金付にて紙巻器本体（ねじ4本）、棚固定金具（ねじ2本）を棚板に取り付けてください。



※紙巻器本体と棚固定金具と棚板の背面（壁取り付け面）がぴったりと合うように取り付けてください。

④フックを元に戻す。

警 告

棚板に紙巻器や棚固定金具を取り付ける際は、過大な締め付けトルクで、下穴を破損しないよう締め付けの最後は、必ず手で締める
一度棚を固定したあと、棚を取り外して付け直さない

棚板のねじ穴部が破損し、ねじが抜け商品が外れたり、商品の十分な耐荷重が得られない場合があります。

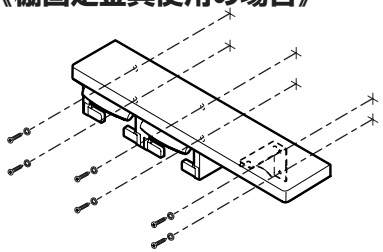
2-1 壁に取り付ける

注 意

取付面がコンクリート下地の場合は、別途固定金具(品番T110D28樹脂プラグ20個入り〈φ6×30、下穴φ6〉)を用意し使用してください。
取り付けが不安定になったり、落下して重大事故につながるおそれがあります。

①心出しをしたあと、φ2.5mm～φ3mmのタッピンねじの下穴をあける。 2-2 注1
このとき、商品が水平に取り付くように穴位置を確認してください。

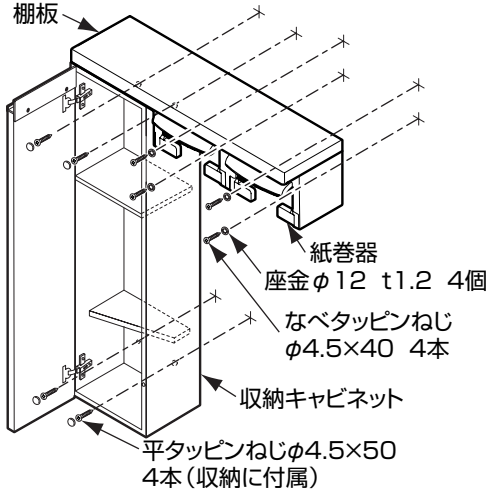
《棚固定金具使用の場合》



②紙巻器本体を付属のタッピンねじと座金で固定してください。 2-2 注2
また、締め付けたねじにバリが出ていないことを確認してください。

《収納とセットする場合》

《YHK490FR+YSC18SLの場合》



注 意

棚付ニ連紙巻器の方から取り付けないと、収納との間にすき間ができたり、棚が水平に取り付かない場合があります。

2-2 壁に取り付ける(つづき)

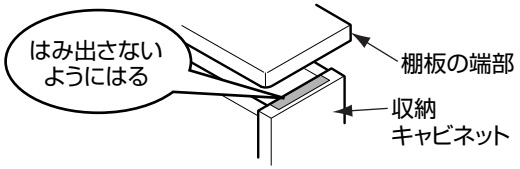
③取り付けが完了したあと、棚板や紙巻器がガタつかないことを確認してください。
また、商品が水平に取り付いていることを確認してください。

注 意

注1: φ2.5mm～φ3mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。
注2: タッピンねじを強く締めすぎて合板・補強木やタイルなどを破壊しないように注意してください。

収納キャビネットを取り付ける

詳細は収納キャビネットの施工説明書、取扱説明書を確認してください。



収納キャビネットをセットする際は、収納天面にあらかじめ両面テープを左図のようにはってください。

⚠ 警 告

必ず実行

取り付け完了後、商品にガタツキがないことを確認する
商品にガタツキがあると、商品が外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。

壁取付ねじを締め付けた際、バリが出ていないことを確認する
バリが出ていると、使用される方がさわったりすることにより、けがをするおそれがあります。

取り付け完了後、商品が水平に取り付いていることを確認する
商品が指定の向きで、水平に取り付いていないと、商品が外れたり、壁が壊れたり、棚の上に置いたものが落下して、使用される方が転倒したり、けがをするおそれがあります。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。